

2025 年 11 月 20 日

長野県知事
阿部守一様

日本共産党県議団 団長 毛利 栄子

11 月県議会に向けた申し入れ

- 1、 スキーシーズン中、外国人観光客の増加に伴い、混雑や住民生活への影響も予想されます。市町村と協力して具体的な手立てを取ってください。
- 2、 省エネ基準の厳格化、原材料費や輸送費の上昇などにより、これまでの安価なエアコンの機種が生産が制限され、高性能で高価格のモデルが市場での中心となり、「庶民が買えない」と問題になっています。生活保護受給者のエアコン購入費について、全受給者に対象を広げるようにしてください。
- 3、 ①政府は米の生産量を抑えようとしています、店頭価格は高止まりが続き、家計を圧迫しており、減産すれば価格の高止まりを招く恐れがあります。米不足・価格高騰を引き起こさないためにも余裕を持った生産が必要です。国に対し、米増産の方針を堅持し、農業予算の抜本的増額を求めてください。
②米不足と価格高騰を受け、飼料用米から主食用米への作付けの転換が進む中、飼料用米も足りなくなり、必要としているところまで届いていません。飼料用米についても一定の必要量を確保できるように、生産量・生産バランス・生産者への交付金の見直しを行ってください。
- 4、 これから寒い冬を迎えますが、燃料価格が高止まりしたままです。市町村と連携しながら、福祉灯油の制度を全県に広げるなど、冬期間の暖房費を助成する施策を検討してください。
- 5、 生活困窮者の支援活動を行っている民間団体に対し、県は「絆再生事業」として一団体 50 万円を支給していますが、物価高騰の影響で生活困窮者が増加している一方で各団体は食料や金銭的な寄付が減少傾向にあり、運営資金が不足する事態に陥っています。各団体への支援金の増額を行ってください。

- 6、 クマによる被害がひろがるなか、県もクマ対策員を特別公務員として任用されますが、さらに有害捕獲従事者への支援・ゾーニング対策の強化など、市町村と連携しクマ対策を進めてください。公的な施設において、クマ撃退スプレーの支給など具体的なクマ対策の支援を検討してください。また、クマの生息環境の保全策として広葉樹の活用など生物多様性が保全される森づくりを行うため、国への予算拡充を求めてください。
- 7、 新型コロナウイルスワクチンの接種料金が、市町村ごとにより格差が生じています。住んでいる自治体にかかわらず、希望する人が接種できるように、県として市町村と協議し料金を抑える施策を検討してください。
- 8、 リニア中央新幹線の開業時期が見通せなくなり、工事費が膨らむことや住民生活への影響、JR 東海の鉄道事業の安全性や利便性が損なわれることも懸念されます。県は JR 東海に対し、地域住民への説明責任を果たすよう求めてください。
- 9、 物価高騰を上まわる賃上げのために、中小企業への支援を国に対し強く求めてください。賃上げ減税や業務改善助成金では中小企業の利用率が低く、効果が不十分です。岩手、徳島、群馬、奈良、茨城各県ですでに実施している直接支援を、長野県も決断してください。